

## 2022 年度大学入学共通テストの英語にチャレンジ！

英語では、英語のリーディングをとりあげてみます。

大学入学共通テストでは思考力や判断力などが求められますが、それに加え、英語のリーディングでは「すばやく」かつ「正確に」読む力も求められます。

例えば、2022 年1月実施の共通テスト(本試験)英語リーディングの語数は、本文・設問合わせて約 6,000words もあります。それに対して試験時間はたったの 80 分です。問題を解く時間も考えると、1 分間に 100words 程度を読みこなす力が必要です。

さて、今キミは、どれくらいのスピードで読むことができるでしょうか？ここでは、実際に 2022 年度の共通テスト(本試験)で出題された問題第6問 A の本文の一部を取り出しています。

196words の文章を、2分で読みこなすことが求められます。スマートフォンのアプリ等、時間が計れるものを利用して、2分でどこまで読めるかチャレンジしてみましょう！

## When Does the Day Begin for You?

When asked “Are you a morning person?” some reply “No, I’m a night owl.” Such people can concentrate and create at night. At the other end of the clock, a well-known proverb claims: “The early bird catches the worm,” which means that waking early is the way to get food, win prizes, and reach goals. The lark is a morning singer, so early birds, the opposite of *owls*, are *larks*. Creatures active during the day are “diurnal” and those emerging at night are “nocturnal.”

Yet another proverb states: “Early to bed, early to rise makes a man healthy, wealthy, and wise.” *Larks* may jump out of bed and welcome the morning with a big breakfast, while *owls* hit the snooze button, getting ready at the last minute, usually without breakfast. They may have fewer meals, but they eat late in the day. Not exercising after meals can cause weight gain. Perhaps *larks* are healthier. *Owls* must work or learn on the *lark* schedule. Most schooling occurs before 4:00 p.m., so young *larks* may perform certain tasks better. Business deals made early in the day may make some *larks* wealthier.

読み終えるのにどれくらいかかりましたか？

それほど難しい単語はなかったという方も、2分という限られた時間で読み通すのはなかなか大変だったのではないのでしょうか。

どれくらい内容把握ができていたか、日本語訳で確認してみましょう。

あなたにとって一日の始まりはいつですか(河合塾試訳)

「あなたは朝型人間ですか」と尋ねられると、「いいえ、私は夜型(フクロウ型)人間です」と答える人もいます。そのような人たちは夜に集中し、創造的になることができます。時計の反対側では、有名なことわざに「早起き鳥は虫を捕える(早起きは三文の得)」というものがありますが、これは、早起きをすることが食べ物を得たり、賞を獲得したり、目標を達成したりするための方策となるということです。ヒバリは朝に鳴く鳥ですから、フクロウ型の反対側にいる早起きは、ヒバリ型ということになります。日中に活動的になる動物が「昼行性」で、夜に姿を現す動物が「夜行性」です。

さらにまた別のことわざは、「早寝早起きは、人を健康にし、裕福にし、賢くする」と述べています。ヒバリ型はベッドからすぐに出て、たっぷりの朝食によって朝を迎えるのに対して、フクロウ型はスヌーズボタンを押して、ぎりぎりの時間で準備をし、たいたい朝食を食べません。食事の回数はより少ないかもしれませんが、一日の遅い時間に食事をとります。食後に運動をしないことで、太る可能性があります。おそらくヒバリ型の方がより健康的でしょう。フクロウ型はヒバリ型のスケジュールで働いたり、勉強したりしなければなりません。学校の授業のほとんどが午後4時より前に行われるので、ヒバリ型の若者の方がある種の課題をよりうまくこなすかもしれません。一日の早い時間に行われる商取引では、ヒバリ型の方がより裕福になるかもしれません。

いかがでしたか？

2分以内に読み切ることができ、かつ、内容把握も正確にできていたのでしょうか？

「余裕だったよ！」という方もいるかもしれませんが、ですが、ここで注意したいのは、この問題は「第6問A」の文章だということです。

リーディングは全部で 10 の英文が出題されましたが、第6問Aは「9つめ」の英文となります。最後の第6問A、第6問Bは、他の問題と比べて長い英文が課されます。

つまり、この問題に取り組むのは、約 4,000words もの英文に必死で格闘した後ということになるのです。

4,000words の英文を、集中力を途切れさせず読み進め、かつ、内容把握を正確に行い、問題を解いた後に、さらに 2,000words の英文と問題を解いていく自信はありますか？

「たぶん大丈夫」という方も、「そんなの無理…」「自信がない」と思われた方も、まずは 80 分で 6,000words の英文に取り組むという「本番体験」をしてみましょう。

また、今回掲載されている本文中に、未知の単語がどれくらいあったかも確認してみてください。知らない単語が多いと、英文を正しく理解することも、読むスピードを速くすることも困難です。すばやく正確に読み解くには、単語力だけでなく、文法や構文の知識も必須ですから、英語の総合的な力を高めていかなければなりません。そのためには英語学習に根気よく取り組む必要があります。

皆さんの力を試せる、河合塾の「大学入学共通テスト トライアル」は、10 月 2 日(日)実施です。